

COMPANY REPORT & PROFILE

2017 Apr.1st

2017 Sep.30th

第72期 中間報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

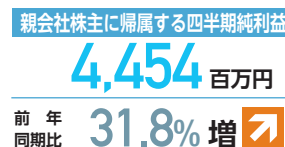
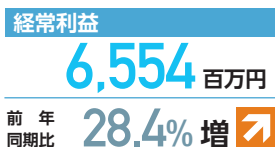
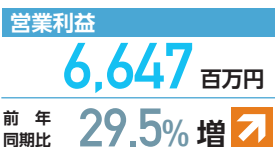
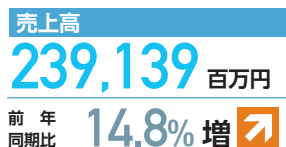
証券コード 8051



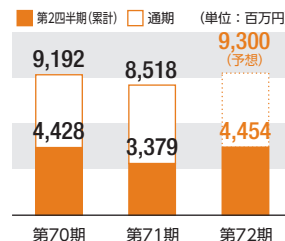
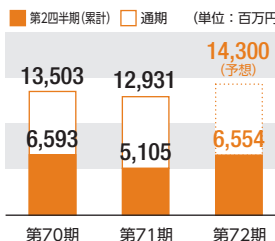
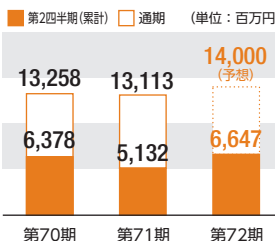
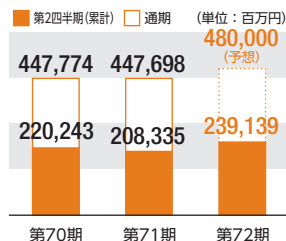
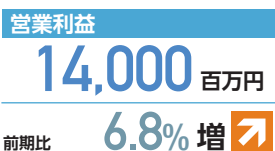
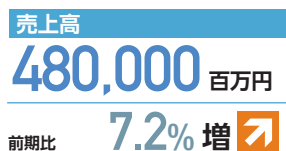
株式会社 山善

Consolidated Financial Highlights | 連結財務ハイライト |

第2四半期(累計)業績



通期業績予想

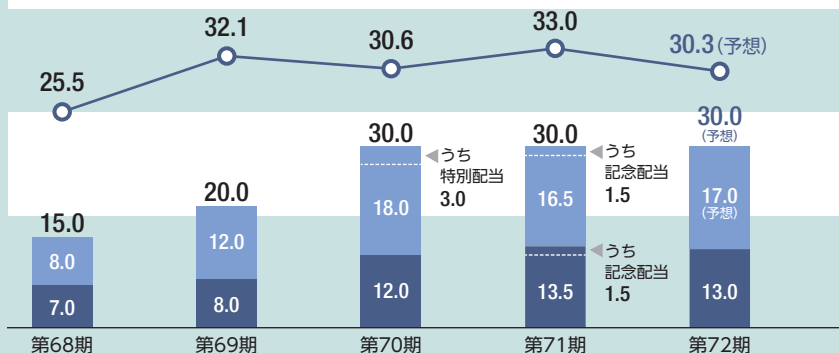


配当について

当期の中間配当は1株当たり13円とさせていただきます。また期末配当は1株当たり17円を予定しております。

今後とも、株主の皆様への安定的な配当を基本に、利益水準を考慮し更なる配当水準の向上に努めてまいります。

■ 中間配当(円) ■ 期末配当(円)
○ 配当性向(%)





代表取締役社長

長尾雄次

President, CEO & COO
Yuji NAGAO

ONEXT 2018
YAMAZEN
ひとつになって、この先へ。

「ONEXT YAMAZEN 2018」
2期目がスタートしました。

皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第72期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の第2四半期決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内生産財分野では、自動車やスマートフォン向け部品の輸出が好調なことを背景に新規設備の需要が旺盛となり、全般的に好調を維持しました。海外生産財分野では、米国では自動車関連産業や建設機械関連産業の工作機械の需要が増加、また、医療機器関連産業の設備投資も堅調に推移しました。中国では、人件費の高騰による省人化投資の需要が高まる中、EMSや自動車関連産業の設備投資が好調に推移しました。消費財分野では、新設住宅着工戸数の増加は勢いを欠く状況となりましたが、住宅リフォームの需要は底堅く、住宅設備関連商品の需要は堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、239,139百万円(前年同期比14.8%増)、営業利益は6,647百万円(同、29.5%増)、経常利益は6,554百万円(同、28.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,454百万円(同、31.8%増)となりました。

今後とも当社グループは、モノづくりを支え、快適生活空間を創造する商社として、世の中の変化を的確に捉え、スピード感をもって対応することで、収益の拡大を図ってまいります。

皆様には、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※中期経営計画「ONEXT YAMAZEN 2018」の詳細につきましては、当社ホームページをご参照ください。

山善、この半期

2017.4.1～2017.9.30

5月 「親交会」、「エース会」を開催

主力取引先を招いて「2017山善親交会」、「2017山善エース会」を開催し、決算概要並びに中期経営計画「ONEXT YAMAZEN 2018(ワンネクストヤマゼン 2018)」の進捗状況等について説明しました。



6月 「大阪どてらい市」開催

生産財と消費財の展示商談会「2017大阪どてらい市」がインテックス大阪6号館で開催され、342社が出展し3日間で2万8,057名が来場されました。受注額は目標を上回る前年同期比4%増の163億4,997万円を達成しました。

7月 「グリーンボール・プロジェクト」
2016年度報告

当社が推進している地球温暖化防止に効果のある省エネ機器の販売・普及に取り組む環境関連ビジネス「グリーンボール・プロジェクト」。2016年度の年間CO₂削減効果量は41,840トンとなりました。



8月 DIYショーに出展

国内外のDIY・ホームセンター関連商品数万アイテムが一堂に集まる「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2017」が千葉の幕張メッセにて開催。当社は園芸・工具関連商品等を出品し、好評を博しました。

8月 「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017」大会競技解説図書を寄贈

11月に栃木県で開催された「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017」に協賛している当社は、大会競技解説図書として「ものづくり図鑑」を発行し、栃木県に寄贈。8月、福田富一栃木県知事より感謝状が授与されました。

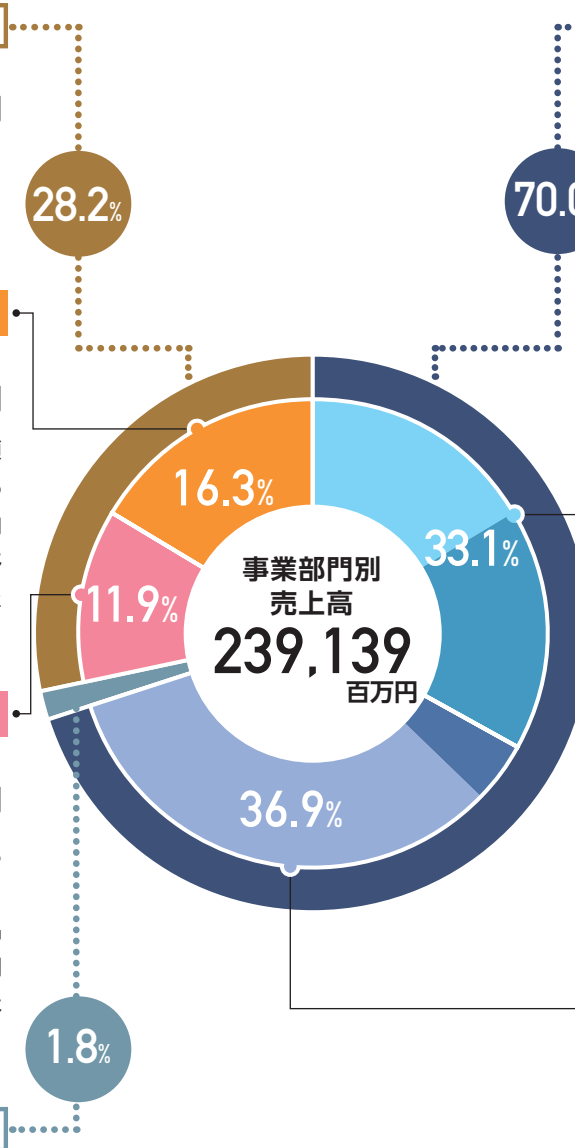


消費財関連事業
67,299 百万円

家庭機器事業部
38,919 百万円

住建事業部
28,379 百万円

その他
4,368 百万円



生産財関連事業
167,471 百万円

機械事業部
79,293 百万円

機工事業部
88,177 百万円

国内 16.5% | 39,580 百万円

海外 16.6% | 39,713 百万円

国内 32.6% | 77,931 百万円

海外 4.3% | 10,246 百万円

国内機械事業では、自動車生産や半導体関連産業向けに工作機械の販売が増加したほか、幅広い業種で需要が伸長し、工作機械の受注が高水準で推移しました。国内機工事業では、好調な工作機械の受注や工場稼働率の回復により周辺機器や切削工具、測定機器が堅調に推移しました。海外においては、米国市場は自動車関連産業からの受注が好調を維持し、工作機械の販売が高水準で推移しました。中国市場は、EMSへの工作機械販売が引き続き伸長し、半導体関連や自動車関連産業からの引き合いも好調となりました。生産財関連事業の売上高は前年同期比20.9%増となりました。

会社概要

(2017年9月30日現在)

商号	株式会社 山 善
設立	1947年(昭和22年)5月30日
資本金	7,909百万円
本社所在地	
大阪本社	〒550-8660 大阪市西区立売堀2-3-16
東京本社	〒108-8217 東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル
主要取引銀行	みずほ銀行・りそな銀行・三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行・みずほ信託銀行
従業員数	2,846名(連結/有価証券報告書ベース)
建設業許可	国土交通大臣許可(特・般-26)第23080号

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。
	ただし、やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

取締役

(2017年11月30日現在)

取締役会長	中田 繞	
代表取締役社長 社長執行役員	長尾 雄次	最高経営責任者(CEO) 最高執行責任者(COO)
代表取締役 副社長執行役員	掛川 隆司	最高財務責任者(CFO)
取締役 専務執行役員	麻生 太一	家庭機器事業部長
取締役 専務執行役員	野海 敏安	生産財統括 機工事業部長
取締役 上級執行役員	江端 和夫	住建事業部長
取締役 上級執行役員	松井 平	東日本営業本部長
取締役 上級執行役員	佐々木 公久	大阪営業本部長
取締役 上級執行役員	合志 健治	最高情報責任者(CIO) 経営企画本部長 生産財戦略統括部長
取締役 常勤監査等委員	松村 嘉員	
社外取締役 監査等委員	加藤 幸江	
社外取締役 監査等委員	津田 佳典	

株式のお手続きに関するお問合せ先

口座の種類	証券会社等に 口座をお持ちの株主様	証券会社等に 口座がない株主様 (特別口座)
お手続きの内容		
各種お手続き (住所変更、配当金 受取方法の変更等)	お取引のある証券 会社等に直接お問 合せください。	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉 二丁目8番4号
単元未満株式の 買取・買増請求		
未払配当金の請求*	0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
支払明細等の発行		

*未払配当金のご請求につきましては、最寄りのみずほ信託銀行またはみずほ銀行の本店および各支店にてお取扱いたします。

*お支払開始日から満3年を経過した配当金につきましては、お受取りができなくなりますので、ご注意ください。

**IRメール
配信サービス**

メールアドレスをご登録いただいた皆様に最新IRニュースをお届けしています。

<http://www.yamazen.co.jp/japanese/ir> 山善 IR 検索




IRインフォメーション

ご登録は
こちらから



当報告書には財政状態および経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。
この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。